

施策の成果指標（KPI）進捗状況

資料 4
令和4年10月31日
総合計画審議会資料
(委員意見反映後)

評価	A	B	C	-
合計	17	26	29	4

『A』：成果指標とする数値を達成した
『B』：成果指標とする数値の達成に向け現状値(初期値)から進展がある
『C』：現状値(初期値)から進展がない又は後退した
『-』：データが未集計若しくは有効な数値がない

評価A	評価B	評価C
<p>【施策の大綱1 暮らしと防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 刑法犯罪認知件数 ・ 年間交通事故死傷者数 ・ 移住定住施策による移住件数(年間) ・ 温室効果ガスの削減(2015年の温室効果ガス排出量を基準とした削減率) ・ マイナンバーカードの交付率 <p>【施策の大綱2 福祉と医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉施設に通所している利用者のうち、企業などと雇用契約を結び就労した人数 ・ 要介護認定率 <p>【施策の大綱3 学びと交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習講座に参加した市民の満足度 ・ 成人週3回以上の運動実施率 ・ 給食がおいしいと思う児童生徒の割合 ・ 給食を残さず食べる児童生徒の割合 <p>【施策の大綱6 社会の基盤】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅確保要配慮者専用住宅登録戸数(累計) ・ 経年劣化(老朽化)水道管路更新延長 ・ 河川の増水による家屋被害件数 <p>【施策の大綱7 地域の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 果樹販売額(JA榊引支所、産直施設) ・ 教育旅行受入れ学校数 ※温海地域 ・ 越沢三角そばの栽培面積、焼き畑あつみかぶの販売単価 	<p>【施策の大綱1 暮らしと防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ビジョンの策定件数 ・ つるおかコンシェルジュの世話焼き活動による婚姻数(累計) ・ 地区防災計画策定組織数(累計) ・ 出火率(人口1万人あたりの出火件数) ・ 2018(平成30)年現在の推計値と比較して人口減少や高齢化が抑制されたモデル地区数(累計) ・ エネルギー自給率 <p>【施策の大綱2 福祉と医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 荘内病院における患者サービスの満足度指数 <p>【施策の大綱3 学びと交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己肯定感を感じている子ども ・ 他者との協働や共生について考えている子ども ・ 学んだことを日常に生かそうとする子ども ・ 高等教育機関等から誕生したベンチャー企業の40歳未満の従業員数 ・ 市立図書館における15歳以下1人あたりの年間児童図書貸出冊数 ・ 成人週1回以上の運動実施率 <p>【施策の大綱4 農・林・水産業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規就農者数、うち新規参加者数 ・ 有機米の作付面積 ・ 産直施設の販売額 ・ 木材生産量(民有林) <p>【施策の大綱5 商工と観光】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規高等学校卒業生就職者のうち市内就職率の割合 ・ 本社を鶴岡に置くベンチャー企業の40歳未満の従業員(役員(非常勤を除く)及び正社員)数 <p>【施策の大綱7 地域の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ビジョンの策定件数(累計) ※鶴岡市全体分 ・ 人材育成の取組を通じて新たに実施される地域づくりのプロジェクト件数(累計) ・ 農業収入1,000万円以上の経営体割合 ・ ふじ関連イベント・施設入込数 ・ 藤島地域の年間人口減少率 ・ 転出による世帯減少率 ※朝日地域 ・ 集落ビジョン策定自治会数 ※温海地域 	<p>【施策の大綱1 暮らしと防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの資源化率(ごみ総量のうち再資源化した割合) <p>【施策の大綱2 福祉と医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ がん検診受診率 ・ 自殺死亡率(人口10万人対) ・ 自立相談支援事業の対象である生活困窮者のうち、支援により就労につながった人数(年間) <p>【施策の大綱3 学びと交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭教育支援講座を実施した施設割合 ・ 文化芸術活動の参加者数 ・ 文化財施設入館者数 ・ 行政及び民間における相互交流件数 ・ 外国語講座及び日本語講座受講者数 <p>【施策の大綱4 農・林・水産業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業産出額、うち園芸作物(野菜・果物・花き) ・ 生産額 ※水揚げ額 ・ 魚価 <p>【施策の大綱5 商工と観光】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心商店街における自転車歩行者数(休日・平日の平均) ・ 中心商店街における空き店舗率 ・ 高等教育機関・研究機関の研究成果などから誕生した本社を鶴岡市に置くベンチャー企業(従業員4名以上)の数 ・ 観光客入込客数 ・ 外国人延べ宿泊者数 <p>【施策の大綱6 社会の基盤】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地居住人口の市内総人口に占める割合 ・ 平成29年度を100とした場合の路線バスなどを利用者指数 ・ 河川愛護団体(海岸含む)活動団体数 <p>【施策の大綱7 地域の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 月山・羽黒山の観光客入込数 ・ 堆肥散布量(羽黒町堆肥利用組合)、JAアスパラ部会(羽黒地域)の販売額 ・ 地域活動センター利用者数(4地区合計) ※羽黒地域 ・ 榊引地域観光果樹園観光入込客数(11施設) ・ 榊引地域の年間観光入込客数 ・ 単位自治組織の地域ビジョン策定数(全21組織・累計) ※榊引地域 ・ 地域内経営耕地面積の確保 ※朝日地域 ・ 朝日地域への観光入込客数 ・ あつみ温泉及び風ヶ関地区内観光施設への観光入込客数(道の駅含む)
<p>評価一</p> <p>【施策の大綱2 福祉と医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本市の「子育てのしやすさ」の評価で「しやすい」又は「ややしやすい」と回答した保護者の割合(アンケート調査の未実施のため) <p>【施策の大綱3 学びと交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内のいきいき子育て応援企業優良企業・実践企業数(令和元年度、県による新規募集が終了したため) <p>【施策の大綱5 商工と観光】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 従事者一人あたりの商工業等生産額(根拠とする経済センサスの結果が公表に至っていないため) <p>【施策の大綱6 社会の基盤】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本海沿岸東北自動車道鶴岡西IC利用台数(酒田河川国道事務所による利用台数が非公表となったため) 		

施策の成果指標 (KPI) C評価の要因について

コロナの影響もあった項目 (24/29項目)

コロナによる影響	評価Cとなった項目(上段)とその要因(下段)	現状値	実績値	成果指標
【施策の大綱1暮らしと防災】				
○	・ごみの資源化率(ごみ総量のうち再資源化した割合) コロナ禍における集団資源回収運動の実施回数の減少、リサイクルルートの多様化により市で把握できない再資源量が増加	12.0% (2017年)	11.7% (2021年)	15.4% (2028年)
【施策の大綱2福祉と医療】				
○	・がん検診受診率 コロナ禍における集団検診や人間ドックの中止や受検控え	①胃がん 32.7% ②大腸がん38.9% ③肺がん 41.1% ④乳がん 23.7% ⑤子宮がん32.6% (2017年度)	① 29.7% ② 37.9% ③ 39.4% ④ 20.4% ⑤ 30.4% (2021年度)	① 36.6% ② 41.2% ③ 43.9% ④ 24.7% ⑤ 35.0% (2028年度)
○	・自殺死亡率(人口10万人対) コロナ禍における人との接触機会の減少とその長期化を一因とする人間関係の悪化や経済環境の悪化による雇用の不安定化	16.4 (2017年)	20.5 (2021年)	15.0以下 (2028年)
○	・自立相談支援事業の対象である生活困窮者のうち、支援により就労につながった人数(年間) コロナによる経済の停滞や雇止め	46人 (2017年度)	45人 (2021年度)	90人 (2028年度)
【施策の大綱3学びと交流】				
○	・家庭教育支援講座を実施した施設割合 感染拡大による幼稚園や小中学校での子どもの成長各期に応じた講座や懇談会の中止	46.8% (2017年度)	24.5% (2021年度)	70.0% (2028年度)
○	・文化芸術活動の参加者数 感染拡大による施設(コミセンや中央公民館等)の休館やイベントの中止、活動の自粛	107,810人 (2017年度)	90,177人 (2021年度)	195,980人 (2028年度)
○	・文化財施設入館者数 感染拡大による観光客等来訪者の減少	916,000人 (2017年度)	680,464人 (2021年度)	1,026,000人 (2028年度)
○	・行政及び民間における相互交流件数 感染拡大による友好都市とのイベント、記念式典等の中止	18件 (2018年度)	8件 (2021年度)	25件 (2028年度)
○	・外国語講座及び日本語講座受講者数 感染拡大による会場(出羽庄内国際村)の休館や講座の休講	1,538人 (2017年度)	937人 (2021年度)	1,661人 (2028年度)
【施策の大綱4農・林・水産業】				
	・上段:農業産出額、 下段:うち園芸作物(野菜・果物・花き) 水稻の価格低迷、担い手の高齢化や労働力の確保困難による生産量の減少、産地間競争の激化	307億 140億 (2016年度)	307.4億 134.9億 (2021年度)	400億 200億 (2028年度)
○	・生産額 ※水揚げ額 コロナ禍における需要減による価格低下、漁業者の高齢化及び漁業者数の減少並びに燃油高騰に伴う出漁控えによる水揚げ量の減少	14.0億円 (2015~2017年度平均)	10.8億円 (2021年度)	17.0億円 (2028年度)
○	・魚価 コロナ禍における需要減による価格低下	493円/kg (2015~2017年度平均)	476円/kg (2021年度)	590円/kg (2028年度)
【施策の大綱5商工と観光】				
○	・中心商店街における自転車歩行者数(休日・平日の平均) 感染拡大による行動制限等、外出機会の減少	3,843人 (2017年度)	2,878人 (2021年度)	4,281人 (2028年度)
○	・中心商店街における空き店舗率 店舗利用客の減少、コロナによる経済の低迷に伴う新規出店を上回る空き店舗数の増加	8.3% (2017年度)	10.9% (2021年度)	4.5% (2028年度)
	・高等教育機関・研究機関の研究成果などから誕生した本社を鶴岡市に置くベンチャー企業(従業員4名以上)の数 2021(令和3)年度に新たなベンチャー企業が2社誕生したが、いずれも従業員数が4名未満のため非計上	5社 (2018年度)	5社 (2021年度)	9社 (2028年度)
○	・観光客入込客数 コロナによる行動制限等、外出機会の減少	631万人 (2019年度)	383万人 (2021年度)	790万人 (2028年度)
○	・外国人延べ宿泊者数 コロナによる渡航制限や国内での移動制限	13,000人 (2019年度)	1,075人 (2021年度)	60,000人 (2028年度)

コロナによる影響	評価Cとなった項目(上段)とその要因(下段)	現状値	実績値	成果指標
【施策の大綱6 社会の基盤】				
	・中心市街地居住人口の市内総人口に占める割合 人口減少の進行と郊外地の開発による中心市街地の空洞化、経済の低迷による空き店舗、空き家の増加	5.4% (2017年度)	5.3% (2021年度)	5.6% (2028年度)
○	・平成29年度を100とした場合の路線バスなどを利用者指数 人口減少、特に高校生等学生数の減少に伴う利用客の減少、コロナによる観光客等の来訪者の公共交通機関の利用控え	100 (2017年度)	82 (2021年度)	103 (2028年度)
○	・河川愛護団体(海岸含む)で活動を行った団体数 コロナによる行動自粛に伴う活動制限、団体構成員の高齢化に伴う参加者の減少	58団体 (2018年度)	55団体 (2021年度)	65団体 (2028年度)
【施策の大綱7 地域の振興】				
○	・月山・羽黒山の観光客入込数 コロナによる行動制限等、外出機会の減少	737,200人 (2017年度)	579,800人 (2021年度)	800,000人 (2028年度)
	・上段:堆肥散布量(羽黒町堆肥利用組合) 下段:JAアスパラ部会(羽黒地域)の販売額 アスパラ:高齢化による廃園、大雨・病害による収穫量の減少	1,757t 4,000万円 (2017年度)	1,940t 629万円 (2021年度)	1,810t 1億2000万円 (2028年度)
○	・地域活動センター利用者数(4地区合計) ※羽黒地域 感染拡大による施設の休館やイベントの中止、活動の自粛	41,842人 (2017年度)	23,032人 (2021年度)	41,900人 (2028年度)
○	・櫛引地域観光果樹園観光入込客数 コロナによる休園や観光客の減少、果樹農家の担い手不足による廃園	18,258人 (2017年度)	13,471人 (2021年度)	24,000人 (2028年度)
○	・櫛引地域の年間観光入込客数(11施設) コロナによる行動制限等、外出機会の減少	748千人 (2017年度)	621千人 (2021年度)	1,004千人 (2028年度)
○	・単位自治組織の地域ビジョン策定数(全21組織・累計) ※櫛引地域 コロナによる自治会活動の中止・縮小による策定検討機会の減少	1組織 (2018年度)	1組織 (2021年度)	10組織 (2028年度)
	・地域内経営耕地面積の確保 ※朝日地域 高齢化による離農や後継者不足、条件不利地での作付けの見送り	843ha (2015年度)	732ha (2020年度)	820ha (2028年度)
○	・朝日地域への観光入込客数 コロナによる行動制限やイベントの中止・縮小	526千人 (2017年度)	234千人 (2020年度)	530千人 (2028年度)
○	・あつみ温泉及び風ヶ岡地区内観光施設への観光入込客数(道の駅含む) コロナによる行動制限やイベントの中止・縮小	478千人 (2017年度)	240千人 (2021年度)	820千人 (2028年度)

＜参考＞コロナの影響もあり取組が推進された項目(評価A・B)

コロナにより取組が推進された項目(上段)とその要因(下段)	現状値	実績値	成果指標
【施策の大綱1 暮らしと防災】			
・移住定住施策による移住件数(年間) コロナによるテレワークの促進や地方回帰・移転の気運の高まり	39件 (2017年度)	69件 (2021年度)	55件 (2028年度)
【施策の大綱5 商工と観光】			
・新規高等学校卒業生就職者のうち市内就職率の割合 コロナによる地元志向の上昇	45.0% (2018年度)	54.8% (2021年度)	66.7% (2028年度)
【施策の大綱7 地域の振興】			
・教育旅行受入れ学校数 ※温海地域 コロナ禍におけるマイクロツーリズムの需要の高まり	2校 (日帰り) (2017年度)	43校 (宿泊31校、 日帰り12校) (2021年度)	12校 (宿泊6校、 日帰り6校) (2028年度)